

☆今月の内容

●トピックス&お知らせ

- ・愛知県知事の年頭所感 - 新春を迎えて
- ・未利用納豆を効率よく回収する装置を開発しました - 牛や豚の飼料として利用-
- ・「高齢ドライバーと自動車安全技術」講演会の参加者を募集します
- ・3D プリンター活用シンポジウムを開催しました
- ・特集 ~競争的資金-戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)等-の支援について~
- ・「緊急階段避難車」を設置しました

●技術紹介

- ・マイクロ波試料分解装置を用いた定量分析について
- ・三州瓦展示支援と瓦に関する東北三県震災復興状況調査について
- ・奥三河の花祭観光関連製品の開発について

《トピックス&お知らせ》

◆ 愛知県知事の年頭所感 - 新春を迎えて

あけましておめでとうございます。

昨年は、円高是正、デフレ脱却に向けた政策が進められ、景気が緩やかに回復に向かうなど、ようやく明るい兆しが見えた年でした。このような中で、日本一の産業県・愛知が我が国の産業経済を牽引していくという決意のもと、産業競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。

今年は、こうした取組を一層発展させ、愛知の活力と豊かさを更に高めていくとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2027年のリニア中央新幹線の開業を視野に入れた地域づくりをしっかりと進めてまいります。

このため、産業空洞化対策減税基金による日本一の補助制度を活用した企業立地や研究開発に対する支援、航空宇宙や次世代自動車を始めとした次世代産業の育成・振興、民間の力を引き出す規制改革の実現など、産業力の革新的強化に全力で取り組んでまいります。

また、元気な愛知の基盤となる人づくりとして、愛知の産業を支えるモノづくり人材の育成、世界を舞台に活躍するグローバル人材の育成などに取り組んでまいります。

さらに、利便性の高い交通体系の形成や、農業の高付加価値化、観光魅力のPR強化などにより、愛知の総合力を一段と高めてまいります。そして、女性の活躍推進や、障害者福祉を始めとした福祉・医療の充実、地震防災対策の強化はもとより、学術、スポーツ、文化、芸術面の魅力向上に取り組み、住みやすく、住んでいて楽しい地域づくりにも力を注いでまいります。

また、今年秋には、「ESDに関するユネスコ世界会議」、「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」が開催されます。地域が一丸となって成功に導き、愛知の魅力を全国・世界に向けて発信してまいります。

これらの取り組みを通じて、「世界と闘える愛知」の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十六年元旦

愛知県知事 大村秀章



◆ 未利用納豆を効率よく回収する装置を開発しました -牛や豚の飼料として利用-

産業技術センターは、(株)エイゼン（知多郡武豊町）、(株)アイム（大府市）及び(有)竹内総合研究所（知多郡阿久比町）と共同で、未利用納豆を容器から効率よく回収する装置を新たに開発し、特許を出願しました。

この装置では、パック詰めされた状態の納豆を投入すると、自動で調味料等を取り除き、納豆と容器をそれぞれ分離回収することができます。納豆は栄養価が高いため、回収後は牛や豚

に与える飼料としての利用を検討しています。

本開発成果については、下記の研究会において詳しく説明します。

＜バイオマス利活用研究会＞

【日時】平成26年2月14日(金) 13:30～16:00

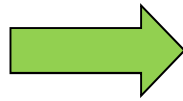
【場所】産業技術センター(刈谷市恩田町1-157-1)

【定員】30名(先着順・参加費無料)

【申込方法】下記ウェブページを参照の上、2月7日(金)までにお申し込みください。



開発した納豆分離装置



回収された納豆及び容器

- 詳しくは <http://www.pref.aichi.jp/0000067917.html> (本開発成果について)
- http://www.aichi-inst.jp/sangyou/news/up_docs/h25baio.pdf (研究会について)
- 申込み・問合せ先 産業技術センター 環境材料室 電話：0566-24-1841 FAX：0566-22-8033

◆ 「高齢ドライバーと自動車安全技術」講演会の参加者を募集します

近年、エレクトロニクス技術の進化に伴い、自動車の安全技術が飛躍的に高まってきています。各種センサ、カメラ、レーダーを利用した安全システムの導入は既に始まっており、今後も益々発展していくと思われます。一方、高齢化が進むにつれ、高齢ドライバーが増加することが予想され、自動車の安全技術においても、こうした視点を開発に取り入れることが重要になっています。

そこで、産業技術センターでは、企業の皆様に自動車の安全技術や高齢ドライバーへの理解を深めていただくための講演会を開催します。

【日時】平成26年2月19日(水) 13:30～16:00

【場所】産業技術センター(刈谷市恩田町1-157-1)

【定員】80名(先着順・参加費無料)

【申込方法】下記ウェブページを参照の上、2月12日(水)までにお申し込みください。

- 詳しくは <http://www.pref.aichi.jp/0000068059.html>
- 申込み・問合せ先 産業技術センター自動車・機械技術室 電話：0566-24-1841 FAX：0566-22-8033

◆ 3Dプリンター活用シンポジウムを開催しました

3Dプリンターは、複雑な立体造形物を短時間で安価にできる技術として大きな注目を集め、工業製品の試作や建築構造物の模型作り等、様々な分野へ利用が広がりつつあります。

あいち産業科学技術総合センターでは、12月20日、(公社)日本インダストリアルデザイナー協会と共同で、3Dプリンターの活用に関するシンポジウムを開催しました。情報科学芸術大学院大学・小林氏による講演と、各界で活躍されている4名の方によるパネル討論が行われ、100名近く

の参加者からは、活発な質疑応答がなされていました。

3Dプリンターの業務への活用を検討されている企業の方は、まずは是非、当センターの「産業デザイントライアルコア」で、3Dプリンターを“見て”、“試して”いただければと思います。



3Dプリンターによる試作例

- 詳しくは http://www.aichi-inst.jp/acist/up_docs/idt_trial.pdf (産業デザイントライアルコア)
- 問合せ先 あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部 試作評価室 電話：0561-76-8316

◆ **特集 ～競争的資金－戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)等－の支援について～**

あいち産業科学技術総合センターの役割の1つに、産学行政連携による研究開発の推進があります。地域に密着した各産業分野の技術課題の解決を加速し、効果的に行うためです。具体的には、『知の拠点あいち』重点研究プロジェクト事業の推進や、当センターや大学の技術シーズを活用し、課題を抱える地域企業と共同で国等へ提案応募する「提案公募型共同研究開発事業」の取組などがあります。後者の代表的な事業に、経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業（略称、サポイン）」があります。今年度は新たに1件、当センターが関係する研究が採択され、継続分と合わせ5件の研究開発をサポインの資金で実施しています。

また、愛知県の産業空洞化対策減税基金による「新あいち創造研究開発補助金」や国等の実施する研究開発（新ものづくり補助金等）への支援も実施しています。

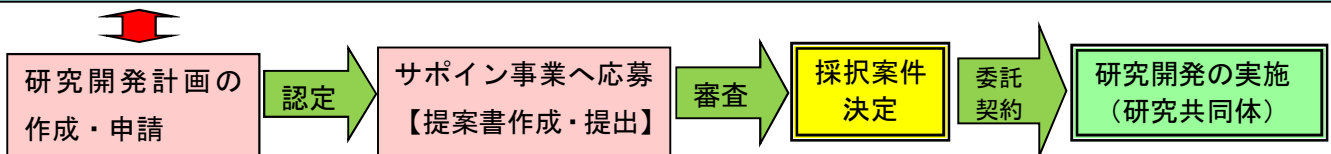
平成26年度においてサポイン申請等をお考えの企業の方は当センターまでご相談ください。可能な限り支援いたします。また、国、本県等の各種助成事業の情報提供、申請書の作成などのアドバイスをさせていただきますので、申請をお考えの方は、お気軽にご相談ください。

〈サポイン事業の概要〉

自動車や情報家電など日本のリーディング産業のみならず、燃料電池やロボットなど次世代の重要産業は、ものづくり中小企業が保有する「ものづくりの基盤技術」によって支えられています。今後、日本経済が持続的に発展していくためには、このようなものづくり中小企業が、市場ニーズを踏まえつつ、より高度な技術開発に果敢に挑戦していくことが必要で、それを支援するのが「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律」です。

この法律は、ものづくりの土台となる「ものづくり基盤技術」のうち22技術分野（金属プレス加工、プラスチック成形加工、めっき、高機能化学合成、電子部品・デバイスの実装等）を国が指定し、これらの技術を使った技術開発を支援するものです。研究開発資金の支援（委託上限額：一般型4,500万円、小規模事業者型2,300万円）の他、各種支援策があります。平成25年度には、全国からの応募653件の応募に対し、112件が採択されました。

ものづくり基盤技術の高度化に関する指針(22分野)→http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2012/0412Kiban_Shishin.htm



サポイン事業の流れ（認定申請から研究開発の実施まで）

- 問合せ先 産業技術センター 総合技術支援・人材育成室 電話：0566-24-1841
あいち産業科学技術総合センター 企画連携部 電話：0561-76-8306

◆ **「緊急階段避難車」を設置しました**

発生が予測されている南海トラフ巨大地震を始め、災害等でエレベータが使用できないような時は、歩行困難な避難者を、上層階から安全・迅速に避難させることが必要になります。

この目的で開発された「緊急階段避難車（レスキュースライダー）」が、愛知ブランド企業である「(株)スギヤス」からあいち産業科学技術総合センターへ寄贈されました。①軽量で持ち運びが

容易であり、②歩行困難な避難者の身体を固定でき、③簡単な操作で使用できる等の特徴があります。

本県は、高齢化社会に向けた福祉用具・介護ロボット等の実用化の促進を図っています。本開発商品は、それに関連する商品です。今後も引き続き、当センターもこの分野への技術支援に努めていきます。

- 問合せ先 あいち産業科学技術総合センター 管理部 電話：0561-76-8301